

## 令和6年度 防犯委員会実績報告

### 1. 昨年度、防犯や交通安全のために取り組んだこと

#### 訓練

- ピーポ君の家かけこみ体験 2年生児童が不審者に声をかけられる設定で訓練を行った。不審者に声をかけられた際に、断る、防犯ブザーを鳴らす、走って逃げる、ピーポ君のに駆け込む、出来事を伝える を実際に行う。

#### 見守りパトロール

- 保護者へ、登下校の見守りの協力を呼びかけ(複数校で同様の取り組み回答あり)。
- おやじの会による、夜廻り。
- 巡視活動を保護者とボランティアの方で協力して行っています。八王子市内の事件などの情報は Home&School にてすぐ共有することができています。
- 保護者に対して、登校時の旗振り、下校時の通学路、遊び場の見守り等、防犯活動の協力依頼をし、定期的に報告書をまとめて保護者と情報共有および注意喚起を行っている。
- 店舗パトロールと称して、近隣の店舗やマンション(遊び場でのマナー)で聞き取りを行い保護者への報告と注意喚起を行っている。
- 地域の見守り隊(学校安全ボランティア)活動により、主に登下校時の見守りを実施。
- Home&School にて不審者情報が速やかに配信されたことで、その都度、保護者の見守り協力が多く得られていたように思います。
- 町会のお祭りの見廻り。
- 保護者との地域安全点検
- 登校時の見守りに取り組んでいます。
- ボランティアによる朝の見守り活動、下校パトロールの実施。
- PTA 旗振り係で毎月 5.15.25 日の登校時間に交通安全指導の旗振り活動をしました。交通安全はもちろんのこと連れ去りなど防犯の抑止力効果にもなればと活動しました。

#### 通学路点検

- 保護者から安全でないとの指摘があり、通学路の変更をした場所がありました。

#### ピーポ君の家

- ピーポくんの家のあいさつ回りを実施(複数校で同様の取り組み回答あり)
- 年度初めに、保護者宛てにピーポくんの家協力企業一覧を配布し周知を行っている  
→ピーポくんの家となっている店舗にお手洗いをお借りする生徒が増えた。ピーポくんの家は安全な場所だという認識が子供たちに広まっていることの表れであるが、お手洗いは家や学校で済ませるように学校から保護者に注意喚起を行った。
- 日常の中で防犯活動が利用できるように、買い物カバンに結び付けられるような防犯バンダナを希望者に配布している。

- ピーポくんの家マップを作成・配布。
- Googlemap を活用し、通学路危険箇所と通学路、ピーポ君の家登録店を Googlemap に入力し、保護者に共有。いつでも地図が見れる環境を作った。
- ピーポくんの家設置場所確認、アンケート実施、収集、整理。
- ピーポくんの家新施設への活動説明およびステッカー配布。
- 月 2 回の旗振り活動（登校時と下校時各 1 回）。S.G.T(Safety Guardian Team)便りの地図を刷新し改定、印刷会社活用し保存版とし全学年に配布。

#### その他

- 学校の授業にて交通安全教室
- 学校の朝の時間などを使い交通安全の指導
- 見守りボランティアの参加者が増えるように『できるときに、できる時間で!』という内容のチラシを作成し、ボランティア募集の案内と一緒に配布した。
- ID カードの裏面に入れられるサイズで『川口小 見守り隊』のイラストカードを作成した。
- 正門近くの自転車の安全運転の呼びかけのステッカーや看板を増設した。
- 令和 3 年度に準備した不審者や問題が起きた際の対応マニュアルを更新。旗振り活動での気づきの報告、本部や学校との連携などを追加し、対応をフローチャート形式に変更。

#### 2. これから取り組む新たな活動

- 安全ボランティア旗振り。
- 登校時の見守りの日数を増やしたりしていく予定です。
- 登下校時に児童に同行する保護者に腕章を配り、パトロールを行っていることを周囲に周知している。
- 登校時の自動車送りの際の場所の変更。
- ピーポ君の家 MAP を使用したオリエンテーリング。
- 今年度より年 1 回家庭を対象に保護者と児童と一緒に通学路を歩く『式分方安全月間』がスタート。
- 危険箇所やピーポくんの家の場所を Google フォームにて報告していただいています。
- 親子で一緒に確認することによって、安全に安心して登下校できるように努めています。

#### 3. 他校の取り組みについて、取り入れたいことや知りたいこと

- どんな事に取り組んでいるのか知りたい（複数校から同様の回答あり）
- 登校時刻よりかなり前に登校している児童の見守りについて

#### 4. 防犯事業委員会への要望

今回、「要望」はありませんでしたが、以下のお声をいただいていますのでご紹介します。

- これからも子どもたちが安全に過ごせるよう、力を合わせて取り組めたらと思います。